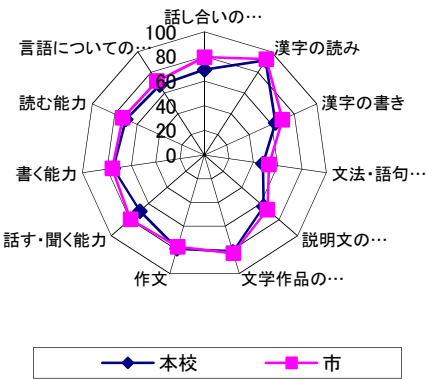


宇都宮市立上河内中学校 第1学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	69.4	79.5
	漢字の読み	91.5	92.6
	漢字の書き	63.4	69.5
	文法・語句に関する知識	47.9	52.9
	説明文の内容の読み取り	63.6	67.4
	文学作品の内容の読み取り	81.7	82.9
	作文	79.0	77.4
観点別	話す・聞く能力	69.4	79.5
	書く能力	74.9	75.6
	読む能力	70.2	73.1
	言語についての知識・理解・技能	67.4	71.5



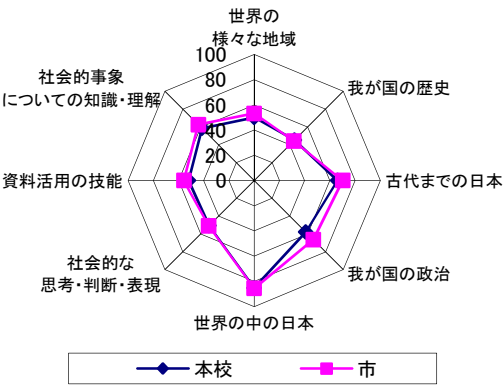
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	本市の平均を大きく下回っており、聞き取った内容を的確にとらえたうえで、自分の考えをまとめていく力が不足している。	聞き取りテストを定期的 to 実施し、普段の授業でもメモをとりながら聞くという作業を随時取り入れていきたい。
漢字	漢字の読みに関しては、ほぼ市の平均通りであるが漢字の書きに関しては本市の平均をやや下回る。反復して練習することを怠り、十分に習得していない生徒が見受けられた。	予習や朝の学習なども利用し、定着を図りたい。日常生活でも、意識して既習の漢字を使うよう指導していきたい。
文法・語句に関する知識	本市の平均をやや下回る。文法事項は生徒が苦手としている分野であり、興味を持てる教材を使って学習した。	文法プリントだけでなく、普段の授業から文法の説明を取り入れていきたい。特に品詞の分類は基本的事項の確認を随時取り入れていきたい。
説明文の内容の読み取り	本市の平均をやや下回る。説明文で特に重要になる指示語、接続語に重点を置いて学習はしたがさらに深く文章を読み取る力を育てる必要がある。	指示語、接続語の意味をとらえたうえで、筆者の主張や意図を読み取れるよう、文章全体の構成にも着目させていきたい。
文学作品の内容の読み取り	本校は読書が好きな生徒が多い。特に文学的な文章を好む傾向が強く、登場人物の心情を把握することができる。	さらに深い読み取りのためにも、心情把握の根拠となる表現を常に意識して考えさせていきたい。
作文	作文を書く力は本市を上回っている。日頃、読書をたくさんしているため語彙も豊富であり、書くことにたいしては抵抗がない。	文章のつなげ方や、よりよい展開の仕方などの指導を継続していき、より豊かな日本語表現を深めたい。

宇都宮市立上河内中学校 第1学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	50.0	53.2
	我が国の歴史	45.2	44.3
	古代までの日本	66.1	70.2
	我が国の政治	57.7	66.3
	世界の中の日本	85.2	85.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	50.7	51.0
	資料活用・技能	52.1	55.8
	社会的な事象についての知識・理解	58.6	62.7



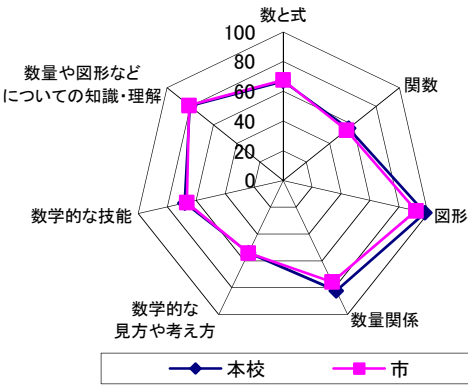
★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	世界の宗教の分布に関しては60%以上、世界各地における人々の生活の変容に関しては80%以上の正答率で、市の平均を上回っていた。しかし、アジア州に関しては、市の平均を下回っている。	世界の人の生活の多様性を生み出している自然条件及び宗教や伝統的文化などの社会的条件には関心をもって取り組むことができています。アジア州の自然環境と産業、生活・文化を関連づけて考察できる力を身につけさせたい。
	我が国の歴史	小学校6年生の学習内容であるが、第2次世界大戦までは70%の正答率で、市の平均を上回っていた。第2次世界大戦後の参政権に関する問題は13%、サンフランシスコ平和条約に関しては、36%と著しく正答率が低かった。	第2次世界大戦後の内容は中学3年で学習することになる。その際に、第2次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させるようにしたい。
歴史	古代までの日本	古墳の形状に関する問題は、89%の正答率で市平均を上回ることが出来た。しかし、5世紀頃の大和政権の様子や、飛鳥時代から奈良、平安時代の歴史の流れに関しては、市平均を下回っている。	それぞれの時代ごとに基礎的・基本的な内容は定着しつつあるが、大陸の文化や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きくとらえることができていない。まとめ学習やグループ学習を取り入れ、時代を大きくとらえる視点を持たせるようにしたい。
	我が国の政治	小学校6年生の学習内容である。日本国憲法の三大原則や天皇の地位について市平均を少し下回っている。身近な事例について、日本国憲法の三大原則のどれと関係が深いのかに関しては38%と正答率が著しく低かった。	日本国憲法、日本の国際化に関する内容は中学3年で学習することになる。その際に、日本国憲法による民主的な政治により、国民の自由と権利が守られているということについて多面的・多角的に追究し、考察した過程や結果を図表などにまとめさせるなどすることにより、日本国憲法を身近に感じられるようにさせたい。
公民	世界の中の日本	小学6年生の学習内容であるが、日本の国際化に関するグラフの読み取り78%、国際交流に関する資料の読み取り91%と正答率が高かった。	また、グローバル化、情報化、少子高齢化などが、互いに関連しあいながら、政治、経済、国際関係に影響を与えていることを理解させ、その知識を身に付けさせることで、考えをより深化させていきたい。

宇都宮市立上河内中学校 第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	66.8	67.6
	関数	56.3	54.4
	図形	97.9	91.7
	数量関係	82.4	75.8
観点別	数学的な見方や考え方	54.0	54.2
	数学的な技能	68.0	66.6
	数量や図形などについての知識・理解	80.5	81.1



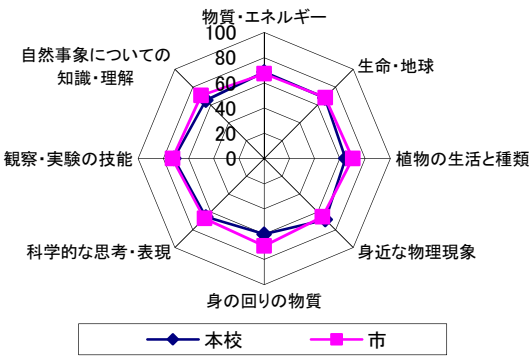
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	負の数の性質、大小関係の理解が不足している。 方程式を解くことはできるが、文字の持つ意味を読み取ることを苦手としている。	計算の反復練習をさせ、計算力を高めたい。また、自分の考えを説明する力を身につけさせたい。
関数	表から式を求めることはできるが、座標点(a, b)と式の関係が結びついていない生徒が目立った。	比例・反比例の式、表、グラフの関係は板書などで強調してきたが、今後は座標の表記方法についても強調していきたい。
図形	非常によく理解している。特に図形の拡大図をあてはめる問題の正答率は100%であった。	これからも、具体物などを活用し意欲を維持していきたい。
数量関係	2つを選ぶ組み合わせの正答率は90%を超えているが、順列では正答率が70%程度まで落ちる。場合の数の総数が多くなると混乱してしまう生徒が多いようだ。	実際に視覚化するなどして、順序立てて事象を整理する能力を身につけさせたい。

宇都宮市立上河内中学校 第1学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	68.5	67.3
	生命・地球	68.1	68.4
	植物の生活と種類	64.6	70.2
	身近な物理現象	68.5	65.4
	身の回りの物質	60.1	69.3
観点別	科学的な思考・表現	65.5	67.1
	観察・実験の技能	71.6	72.8
	自然事象についての知識・理解	65.4	70.8



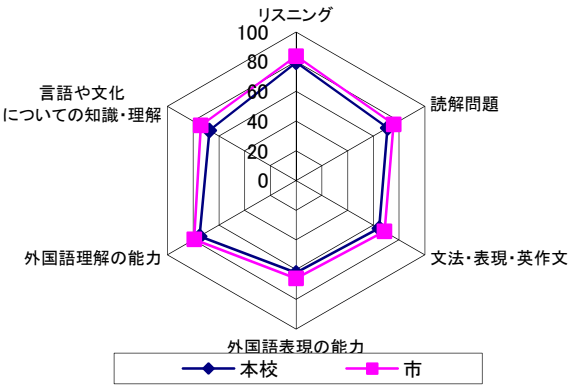
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	てこのはたらきについての問題で正答率が42.3%と理解度が低かった。電気の利用については、正答率が98.6%の問題があり、理解度のばらつきが見られた。	力学の基礎基本を定着させるよう、作図、計算問題等を繰り返し取り組ませていきたい。
生命・地球	粒の大きさによって層をつくることを理解し、それぞれの層に何が積もったかを指摘できる生徒の割合が49.3%と低かった。	この分野では、知識・理解の内容が多い。小テストなどで知識を定着させる工夫が必要である。
植物の生活と種類	実験・観察の考察にあたる部分の理解度が低い。スケッチの仕方についてはおおむね理解できているようである。	観察のスキルを身につけさせるだけでなく、考察する力を身につけさせるための発問を工夫したい。
身近な物理現象	全反射についての正答率は平均を超えているが、反射の法則についての正答率が極端に低い。	実験観察と練習問題を結び付けながら理解度を高めていけるよう工夫したい。
身の回りの物質	身の回りの物質とその性質、気体の発生とその性質ともに市の平均を下回っている。	実験観察の方法、その結果、考察とそれぞれを結び付けて理解できるよう、ワークシート等を工夫して活用したい。

宇都宮市立上河内中学校 第1学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	リスニング	79.5	83.8
	読解問題	71.0	75.7
	文法・表現・英作文	64.5	68.6
観点別	外国語表現の能力	62.1	65.9
	外国語理解の能力	75.1	79.2
	言語や文化についての知識・理解	67.4	74.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	英語に慣れさせるためにクラスルーム・イングリッシュをはじめ、英語を多用して授業を進めているが、問いかけに対しての応答の仕方を十分に身につけていない生徒が見られる。	今後も英語を多用して授業を進め、聞き取る力や自ら聞きとろうとする意欲を高めさせたい。その際、大切なことを落とさずに要点をとらえて聞く態度を身に付けさせたい。
読解問題	英語特有の表現や教科書の英文を読んで、5W1Hを理解する基本的作業を重視し指導している。少しずつ英文に慣れ、読解力がついてきている。	5W1Hをおさえた読み取り、さらには段落ごとのまとまりを意識した読み取りのスキルを身に付けさせたい。読み取りの土台となる語彙力を高める活動を工夫したい。
文法・表現・英作文	並び替えの問題に比べ、和文英訳をする力がまだ十分に身に付いていない。授業において、書くために必要な単語の発音練習を繰り返し行った。また、それらの単語テストを実施しているが、まだ定着しておらず継続的な指導が必要である。	文法の指導において、導入の仕方や場面の設定を工夫することによって英語を話す必然性や雰囲気を作りたい。書く力をつけさせるためには、基本文の暗唱だけでなく繰り返し書く活動を定着させ、語彙力を高めたい。